

生活支援部会(22年度第9回)会議録

開催日時：平成22年12月8日(水) 13:30～15:15

場所：療育サポートプラザ「チャイブ」ミーティングルーム

(主な議題内容)

1. 居宅介護事業所連絡会について
2. 自立支援協議会の普及・広報活動について
3. 短期入所の現状・課題について

1. 居宅介護事業所連絡会について

第1回居宅介護事業所連絡会の実施にむけて・・・推進担当者打ち合わせの報告

当日の内容案

- ・はじめに、連絡会の立ち上げの目的
- ・福祉課(事務局)よりひとこと
- ・一宮市障害者自立支援協議会について
(協議会の役割、これまでの取り組み、これからの活動について)
- ・一宮市障害者相談支援センターの相談支援員さんの紹介
(全員の紹介に加え、相談支援事業所の役割、ヘルパー事業所との連携について)
- ・事業所の顔合わせ、意見交流

日程・会場

以下の日程で会場の予約済み

- ・平成23年1月19日(水)13:30～15:30
- ・一宮市尾西庁舎6階・一宮市尾西生涯学習センター

参加を呼びかける事業所・出席者の範囲等

- ・一宮市内に事業所があり、介護保険、自立支援法のいずれか、または両方の指定を受けている居宅介護事業所
- ・出席者は事業所のスタッフであれば、職責等を問わず、どなたが何名参加されても可(人数制限等はしない)
- ・参加費等なし
- ・当日出席者は事業所の身分証等を持参していただく

その他準備・検討課題

- ・居宅介護事業所連絡会の呼びかけ・第1回連絡会開催の案内文(別紙1)
- ・第1回連絡会の出欠と事前アンケート(別紙2)
事務局より参加対象事業所へ案内文、アンケートを郵送
出欠とアンケートは12月20日までにきーぷへFAXにて返信していただく
- ・第1回連絡会にむけた推進担当の打ち合わせ 12月21日(火)10:00～お山のカフェにて
(当日のタイムテーブルの検討、出欠・アンケートの結果の確認、当日のアンケートの内容その他準備課題の検討)

2. 自立支援協議会の普及・広報活動について

一宮市障害者自立支援協議会リーフレットの第1次案(別紙)をもとに意見交流

「自立支援協議会」というわかりにくい組織・活動をわかりやすく、イメージできるリーフレットにしたい

- ・1pの相談支援センターの説明の文字が一字かけている

- ・3pの相談支援センターの担当地区の説明部分で、「尾西」と「旧尾西」の記述を統一したほうが良い
- ・4pの事務局、福祉課の電話番号(正)0586-28-9134
- ・ストーリーがあって、1つ1つはわかりやすいが、チラシとして情報量が多すぎる？
- ・相談 相談支援事業所 個別支援会議 地域の課題の把握 課題解決への流れが見てわかる図や絵
- ・2pの全体図と説明文が重複しているのでわかりやすく1つにまとめる
- ・最初の1pの「～みんなの暮らしを応援します～」のフレーズ
協議会をわかりやすくひとことで表す言葉でいいフレーズはないか？
- 最後の4pの「共生のまち 一宮をめざして」のフレーズ
最後のフレーズでいい言葉はないか？（「思いやりのまち」他・・・）
- 最後のページの内容

推進担当で再度検討、次回1月の生活支援部会で再度提案

3. 短期入所の現状・課題について

(運営会での問題提起から)

緊急時に利用できる短期入所事業所がない、また事業所としても緊急時の受け入れが難しい現状がある
生活支援部会として何か取り組めることはないか？

短期入所の課題・問題は複雑である

対象者、障がいの内容、年齢、家庭の状況によって短期入所の受け入れの問題・課題が異なる

- ・重心の利用者、医療的ケアが必要な利用者
- ・自閉症等、発達障がいのある利用者(ハード面・環境面の問題もある)
- ・難病疾患等
- ・子どもから大人まで
- ・親が倒れた・・・まさに緊急時の受け入れ(家族も利用者本人も混乱した状態)

市内の短期入所事業所(指定・・・11事業所)の状況

介護保険の事業所(自立支援法の短期入所指定も受けている事業所)・・・4ヶ所

看護師配置がある。定期で利用されている方もいるが、介護保険の方の利用が中心であり、2ヶ月前から予約がうまる状況、ケアマネさんと連絡をとることも難しい状況がある。

ケアホーム、グループホームの事業所・・・2ヶ所

受け入れ可能な人数も少ないうえにケアホームと一体的な運営のため、緊急や新規の受け入れは難しい面がある。

他入所施設併設の短期入所事業所・・・法人内の利用者の受け入れでいっぱい、緊急ではなくても利用が難しい状況がある。

11ヶ所の事業所があっても、実際に(緊急時を含め)利用できる事業所が限られている現状がある

病院等医療機関の受け入れ

病院の場合は、自立支援法の医療型の短期入所、他のレスパイト制度等で受け入れるより、医療保険等を利用して入院していただくほうが報酬が高い。

まず実態調査を行ってみる(相談支援事業所、短期入所事業所、病院等の受け入れや相談の現状について)

実態調査のたたき台作成を部会長が行う。

他圏域での取り組みやアイデア

- ・市町村や自立支援協議会で短期入所事業の空き枠を確保し(買い上げる)、緊急時に利用できるようにする。
(財源・予算が必要なため他の圏域でも実施に至っていないようである)
発達障がいや医療的ケアが必要な利用者等、障がいの状況によって、緊急時に初めての利用者を事業所として受け入れることは難しい面がある。緊急時は利用者本人も混乱している状況がある。
(= 緊急時の利用枠をつくって、実際いつでも誰でも受け入れるためには、事業所の力量や支援体制も求められる)
- ・通所施設で短期入所の指定を受けて実施する(宿泊ができる部屋・入浴設備が必要)。
普段から本人の支援に関わっている事業所が、短期入所を実施して宿泊体験や緊急時の受け入れを行う。
本人や家族、事業所としては利用しやすい、受け入れがしやすい面がある。
また普段から緊急時に備えて宿泊体験ができる。
ただし利用できる対象は、同じ通所施設利用者に限られる(通所施設利用者以外の利用は難しい)
ことが想定される。
- ・市内の事業所で共通の情報シート・アセスメントシートを作成する。
これを見ればだいたい本人さんのことがわかる(支援方法を含む)情報シートを市内共通で作成できないか。
こどもから大人、発達障がいや精神障がいの方全てを網羅するシートは難しいかもしれないが、ある程度共通したものは作成ができるのではないか。
発達支援部会でも現在サポートブック作成のための検討をしている。

次回部会にむけて

- 短期入所についての実態調査 部会長がたたき台案作成
- 市内の短期入所事業所共通の情報シート作成できないか？
- 短期入所事業所のアセスメントシートを持ちより検討する

4. その他

- 障害者自立支援法改正法案が成立(別紙参考資料:改正案の条文)
- 平成 24 年 4 月施行

- 愛知県の重症心身障害児者の医療的ケアを考えるシンポジウムのお知らせ
- 平成 23 年 1 月 9 日(日)愛知産業労働センターにて

5. 次回生活支援部会日程

- ・23年1月12日(水)13:30～
- ・場所:後日連絡

一宮市障害者自立支援協議会・生活支援部会(22年度第10回)会議録

開催日時：平成23年1月12日(水) 13:30～15:30

場所：一宮市役所尾西庁舎 西館3階第3会議室

(主な議題内容)

4. 居宅介護事業所連絡会について
5. 短期入所の現状・課題について
6. 自立支援協議会の普及・広報活動について

1. 居宅介護事業所連絡会について

(1)当日の出席者・参加予定状況

- ・56事業所に案内文を送付 25事業所から返信あり、参加20事業所、出席者合計42名。
返信がまだの事業所には、介護保険関係、障福関係は関係委員から個別に連絡。
「自立支援協議会」とは何か？という問い合わせが複数あり、まずその説明が必要な事業所もある。
- ・一宮市障害者相談支援センターの相談員さん全員出席
- ・生活支援部会の部会委員も可能なら全員出席

(2)当日までの準備課題等

資料

- ・一宮市障害者自立支援協議会についての資料
- ・当日レジメ、
- ・当日参加アンケート
- ・事前アンケートの集計結果
事務局で印刷(70部)

当日の準備

- 12時30分に現地集合し会場準備を行う。
- 13時から受付開始
- 13時30分開始

(3)その他「居宅介護事業所連絡会」という名称について

- ・自立支援法の「居宅介護」はヘルパーサービスを示すが、介護保険では「居宅介護」はケアマネ事業所のことを示すためわかりにくい。(介護保険では「訪問介護」がヘルパーサービスを示す。)
- ・また事業所として連絡会に参加しない場合でも、個人として参加できるように「事業所」という文言もないほうが良い。
- ・…以上の理由から、名称を「一宮市障害者自立支援協議会 居宅介護事業所連絡会」
「一宮市障害者自立支援協議会 ヘルパー連絡会」(案)に変更する
第1回目、第2回目の連絡会で説明又は同意を得て変更する。

2. 短期入所の現状・課題について

(1)実態調査のたたき台(案)について…別紙の内容を検討

短期入所事業所の利用状況の実態・課題がわかる内容にしたい。

- ・アンケート実施にあたっての目的説明

- ・事業所で対応可能な(または対応が難しい)利用者について、その理由(設備面・体制面等)について
- ・利用状況(おおよその稼働率など)
- ・予約や受付、契約の際のあり方
- ・緊急の受け入れについての考え方
- ・事業所で感じている問題点
- ・…をふまえて次回の部会で「事態調査アンケート」案を再度提案(担当:部会長)

(2)各短期入所事業所のアセスメントシートの検討・交流

各短期入所事業所のアセスメントシートの交流(別紙)

- ・…次回部会で医療機関のアセスメントシートも加えて交流する。

3. 自立支援協議会の普及・広報活動について

先回の部会での検討を踏まえ再度修正したリーフレット(別紙)の交流

- ・「障害」「障がい」の表記を「障がい」に統一する。
- ・運営会で承認が得られれば、正式なリーフレットとして使用する。
1/19(水)の居宅介護事業所連絡会では生活支援部会作成の資料と表記して配布する
- ・今後ホームページにもアップできると良い。

4. その他

かしの木音楽祭 平成23年2月13日(日)尾西グリーンプラザにて 12:45開演~15:00

一宮商工会主催「福祉事業セミナー 顧客志向の店舗運営とは何か?」のお知らせ

平成23年1月28日(金)13:30~16:30 一宮商工会議所2回会議所にて

別紙申込書にて申し込み必要

1/9(日)開催の医療的ケアシンポジウムの資料

一宮市障害者自立支援協議会講演会のお知らせ

平成23年2月11日(金)13:30~16:00、尾西生涯学習センター6階にて

講師 山田優氏

一般企業向けの障害者雇用促進のための説明会(福祉課・すろーぷ)

平成23年2月14日(月)、尾西生涯学習センター6階にて

愛知県相談支援専門員協会主催「相談支援従事者地区別ネットワーク会議」

平成23年2月9日(水)14:00~17:30、ウィルあいちにて

5. 次回生活支援部会日程

・平成23年2月16日(水)13:30~

・場所:後日連絡

・第2回「福祉の仕事を知るための見学バスツアー」の日程を決める。(平成23年5月予定)

見学候補事業所「かすみ草」「あすか」「MOVE」

一宮市障害者自立支援協議会・生活支援部会(22年度第11回)会議録

開催日時：平成23年2月16日(水) 13:30～16:00

場所：一宮市役所尾西庁舎 西館3階第2会議室

(主な議題内容)

7. ヘルパー連絡会について
8. 福祉の仕事を知るためのバスツアーについて
9. 短期入所の現状・課題について
4. その他

1. ヘルパー連絡会について

(1) 第1回ヘルパー連絡会の報告

当日の質疑・意見交流の内容(別紙)

当日の参加アンケート(別紙)

・上記、の報告と、参加アンケートの中で出された質問等について、生活支援部会としての回答をまとめ各事業所へ報告できるようにしたい(ヘルパー連絡会の準備推進担当)。

アンケート以外での出席者からの感想

- ・事業所の課題等の交流ができると良かった。
- ・連絡会に対して前向きな意見が多かった。
- ・駐車場がいっぱいだった。(健診の日と重なった)
- ・名刺交換ができなかった(時間がなかった)。

(2) 次年度の計画

第2回ヘルパー連絡会(研修予定)・・・23年5月12日(木)13:00～15:00

第3回ヘルパー連絡会・・・23年10月20日(木)13:00～15:00

第4回ヘルパー連絡会・・・24年1月19日(木)13:00～15:00

上記日程で尾西生涯学習センター6階の会場予約済み

第3回目以降の内容については、今後具体化していく

・・・研修について、1回の研修で深めることは難しいため年間を通しての計画も必要かもしれない。

(3) 第2回ヘルパー連絡会について

日程:23年5月12日(木)13:00～15:00

場所:尾西生涯学習センター6階

内容案:「精神障がいの理解、支援について(仮)」

前半1時間～1時間半、講義

後半1時間、グループワーク

連絡会の準備担当で具体化する。

2. 福祉の仕事を知るためのバスツアーについて

(1) 今後のツアーの計画について

第2回ツアー・・・平成23年5月26日(木)

第3回ツアー・・・平成23年10月6日(木)

上記の日程で福祉バスの予約済み

(2)第2回福祉バスツアーについて

- ・日程:5月26日(木) 集合10:00~解散15:30頃
- ・見学場所:「たんぼ温泉デイサービス(集合・解散場所案)」、「発達支援部YY」、「あすか」、「かすみ草」、
(昼食の関係で場合によって「だいち」)
- ・昼食の提供先と昼食をとる場所が検討課題・・・
各事業所に昼食の提供または場所の提供が可能かどうかの確認をする
(昼食の内容案)フラットにお弁当注文、たんぼ温泉デイの昼食バイキング
(昼食をとる場所の案)だいちの2階、YY、お山のカフェ、あすか、たんぼ温泉デイ
- ・広報の件・・・5月号(4/25くらいから配布)で掲載依頼(原稿✕切り3月25日)
- ・バスツアーの準備推進担当で具体化

3.短期入所の現状・課題について

今後の方向性として(1)~(5)

(1)短期入所事業所・医療機関での実態調査

- ・別紙「障害者の短期入所(入院)についての調査」で行う。
 - ・アンケート調査の趣旨説明、依頼文を別途作成する。
 - ・アンケート調査の送付先について・・・短期入所の指定事業所、有床診療所(案)で別途リスト作成する。
- 担当:部会長

(2)短期入所利用者の実績調査(事務局)

- ・短期入所の支給決定人数(人)
- ・(可能なら)短期入所の支給決定支給量(日)
- ・短期入所の利用実績(年間、可能なら月別で 人? 日?)
- ・短期入所の指定事業所のベット数(短期入所指定事業所 箇所、ベット数合計 床)

(3)潜在的なニーズに対する調査

- ・各法人や、団体、通所サービス事業所に対してのアンケート調査を実施する(案)
- ・所属団体の利用者や家族が緊急時の場合に現在どのように対応しているのか?等
- ・短期入所等についての利用者、家族からの要望等

(4)県の自立支援協議会や圏域での動きができないか?要望書を作成する

- ・一宮市の現状や実態について上記の調査をもとにまずデータを出す必要がある。

(5)一宮市としてできることを考える

(意見交流より)

- ・行き場のない利用者、まさに今日をどうするかという相談がある。 何らかの対応、解決策が必要である。
- ・短期入所事業所において、緊急で全く初めての利用者を受け入れる場合は、利用者・支援者両方にとって、困難が予想される。受け入れる「場所」の問題に加えて、「人」の問題が重要である。
利用者に慣れた、利用者が安心できる(通所施設等の)支援者を配置したり、緊急の利用者に対応するために追加で職員を配置できような仕組みや報酬等があれば受け入れの可能性が広がる。
もし緊急の短期入所枠を確保するための予算化を検討する場合でも、受け入れる枠「場所」の問題だけでなく、「人」の問題に対する補助がないと難しい。
- ・市として短期入所の給付費に(緊急時や職員配置等)加算の上乗せをすることは難しい。

- ・市として地域生活支援事業等の新事業として対応できるか？
(この場合は短期入所の給付費請求はしない、加算の上乗せではない形)
- ・日中一時支援で対応できないか？(やむを得ない場合で宿泊した場合の単価設定を設ける等)
- ・各通所施設で短期入所の指定を受けてもらい、通所施設の利用者の緊急時に対応する努力をしていただく。
- ・相談支援センターやグループホームなどにレスパイト機能を設ける。
- ・児童の場合は、児童福祉法の施設等の活用はできないか。
- ・各事業所、法人のアイデアをもちより考えていけたら。

4. その他

峰島先生(立命館大学)の講演会(圏域アドバイザーより)
平成23年3月12日(土) 尾西生涯学習センター5階にて

一宮商工会主催「福祉事業セミナー(第2回)「ビジネスマナーについて」
平成23年3月17日(木)

5. 次回生活支援部会日程

- ・平成23年3月9日(火)13:30～
- ・場所:後日連絡

一宮市障害者自立支援協議会・生活支援部会(H22年度第12回)会議録

開催日時：平成23年3月9日(水) 13:30～15:30

場所：一宮市役所 7階会議室

主な議題内容

1. 福祉の仕事を知るためのバスツアー
2. ヘルパー連絡会について
3. 短期入所の現状課題について
4. 役員改選について

1. 福祉の仕事を知るためのバスツアー 別紙、実施計画(案)・チラシ参照

- ・スケジュールが詰まり過ぎているため、出発時間を9時30分に早める。
- ・申込受付方法はFAXのみでなく、電話・メールでも行なう。
- ・大学向けの周知は、参加者が今後先細りする可能性もあり、前回同様部会メンバー関係先にメンバー各自のできる範囲で周知する。
- ・YY(ワイワイ)見学の際のバス駐車場所については、再度検討する。
- ・たんぼ温泉デイサービス集合の際は、駐車場に誘導係を配置する。
- ・チラシの裏面地図は、たんぼ温泉デイサービスのパンフレットに掲載されている地図を使用させてもらう。

2. ヘルパー連絡会について 別紙、実施計画(案)参照

(1) 研修構成について

- ・講義、法制度等の情報提供、質問への回答や意見交換、グループワークや交流会の3部構成にしたい。
- ・3部構成に伴い、開催時間を当初2時間から3時間にしたい。ただし、長時間にもなるため途中退席も可能と案内する。3部構成のため、興味に応じて自由に出入りしてもらえばよい。

(2) 講義について

- ・前回のアンケートで精神障がいの方への対応について質問が多く、興味が伺える点や、医療的ケアの話題が旬である点から、今回のテーマは「精神障がい」に焦点を当て、部会長に3部構成で講義いただく。

《内容案》

- 第1回(平成23年 5月12日) 『特性についての理解』
- 第2回(平成23年 7月21日) 『支援方法や関わり方など具体的な対応策』
- 第3回(平成23年10月20日) 『医療・福祉の連携と支援者のメンタルケア』

(3) 法制度等の情報提供、質問への回答や意見交換について

- ・自立支援法の改正資料も当日資料に入れたいが、具体的内容や詳細が明らかでない点が多いため要検討する。
- ・法制度等への質問へある程度対応できるよう、事務局の方々にも出席いただきたい。
- ・相談支援センターにも可能な限り出席いただけるよう、毎回案内を出す。

(4) グループワークや交流会について

- ・第1回の交流会は、現任ヘルパーとサービス提供責任者・管理者等に分けてグループ編成するか、分けずにグループ編成するか再度実行委員で検討する。

前回は交流する時間がほとんどなかった反省から、単純な質問も遠慮なくできるよう、まずはテーマを設定せず交流会を行なって参加者の求めているものを探り、次回以降ニーズに応じてテーマ分けした交流会にしてもよいのでは・・・

やはり、立場により求めているものが違うのでは・・・、テーマを設定しない交流会では、第1回の内容によっては次回の参加につながらない心配も・・・、何か各事業所にとってお土産になるものが必要では・・・

- ・会場で作業所等の物品販売が可能かどうか、事務局に確認いただく。

3. 短期入所の現状課題について 4. 役員改選について

- ・ 部会長より、運営会議と生活支援部会部会長の責務を果たすことが困難な状況となり、生活支援部会部会長の解任希望あり。
- ・ 運営会議と部会は密接な関係にあり、これまで部会長は運営会議メンバーが着任している経緯もあり、部会長の選出方法と部会の欠員補充については、運営会議にて協議していただく。
- ・ 短期入所の実態調査は増田部会長が担当しており、今後アンケートの分析等をどのように行なっていくかが宙に浮いてしまうため、次期部会長へ懸案事項として引継がれる予定。
- ・ 火事で障害を抱える方が家を失った事案が2件たて続けにあり、福祉課としてその日からどうしようという問題に直面したと報告あり。 ショートステイの問題と密接な関係

5. その他

- ・ 一宮福祉サポート講習会『介護事業所におけるリスクマネジメント』
平成23年3月24日(木) 13時30分～ ファッションデザインセンター
- ・ 相談支援者等従事者研修会について『峰島厚氏を招いての学習会』
平成23年3月12日(土) 13時30分～ 尾西生涯学習センター5階C会議室

次回の生活支援部会日程

平成23年4月13日(水) 13時30分～ 会場は後日連絡

一宮市障害者自立支援協議会・生活支援部会(23年度第1回)会議録

開催日時：平成23年4月13日(水) 13:30～16:00

場所：一宮市役所 7階会議室

〔主な議題内容〕

- 1.はじめに、新年度の体制について、連絡確認事項など
- 2.ヘルパー連絡会について
- 3.福祉の仕事を知るためのバスツアーについて
- 4.短期入所の現状・課題について

1.はじめに、新年度の体制について、連絡確認事項など

(1)生活支援部会の部会長・委員について

- ・生活支援部会 部会長交代
- ・新委員 紹介
- ・・・新部会長、新委員よりあいさつ、各委員自己紹介

(2)生活支援部会の役割の確認

- ・個別支援会議の課題抽出(運営会議) 解決にむけた施策提言、検討を行う作業部会、専門部会である。
- ・これまでの主な取り組み・・・金銭管理についての問題(モデル契約書の作成)、人材確保にむけた取り組み(バスツアー、ヘルパー連絡会)など。

(3)協議会の取り組み、動き

- ・協議会として3年目、生きづらさを抱えている方を支援するためのつながり、ネットワークづくりを広げていきたい。
- ・発達支援部会の下部組織として児童デイサービス連絡会の立ち上げ。(今年度市内の児童デイが5ヶ所増の見込み)

(4)一宮市障害者自立支援協議会リーフレットについて

- ・相談支援センターが4カ所 6カ所に増(「いちのみや」「夢うさぎ」が増)に修正したもの。
- ・今後協議会のホームページよりダウンロードできるように準備したい。
- ・各事業所で印刷して置いてほしい。

(5)協議会講演会(2月実施)の参加アンケートの集計結果について(別紙参照)

2.ヘルパー連絡会について(別紙ヘルパー連絡会の案内チラシ参照)

(1)第2回ヘルパー連絡会について

・日時:5月12日(木) 13:00～16:00 会場:尾西生涯学習センター6階

12:00スタッフ集合(事前の使用者がない場合はすぐ準備が可能だが、使用している場合は使用後しか準備できない)

- ・内容 研修会「精神障がいの特性理解」
第1回目のヘルパー連絡会でだされた質問に対する回答、交流グループにわかれて交流会
- ・ヘルパーとして日ごろ感じていること
- ・事業所での取り組み、アイデア

参加者60人の見込みで、4つのテーブルで4グループ(15人ずつ)の配置にする。

・4/15までに「案内チラシ」と「第1回目の質問回答のまとめ」を、事務局よりヘルパー事業所(市内のヘルパー事業所53事業所)、部会委員、相談支援センターに郵送 4/28までにきーぷへFAXにて返信していただく。

・ヘルパー連絡会の準備推進担当で分担し、いくつかの介護保険事業所を訪問し、参加の呼びかけ、事業所の困りごとを聞く 当日の交流会の内容に反映したい。

・当日配布資料については後日確認し事務局へ連絡する。

・名簿作成については第3回目連絡会をめどに整理したい。

(2)その他、今後の内容

介護保険の事業所連絡会からの報告(2月定例会の情報交換の内容)

・新規の利用者の獲得についてどうしているか?

介護保険利用者は、夏場や冬場に体調を崩し入院等があり利用が安定しない場合がある。

障害分野に参入したいという意見もあった。

・ヘルパー教育の方法について

・介護拒否の場合の対応方法

・かぎ、金銭の預かりについて

次回介護保険連絡会の定例会でヘルパー連絡会の呼びかけをしたい。

(今後の内容で)相談支援センターの立場からヘルパー連絡会を活用してほしい。

ヘルパー事業所の情報(空き情報や責任者やサービス内容など)の活用など

行動援護従事者研修について

部会長の呼びかけで毎年一宮市で開催している。今年も6、7月に開催予定であり各事業所へ案内したい。

3.福祉の仕事を知るためのバスツアーについて…別紙スケジュール案参照

・日時:5月26日(木) 9:30~15:35 (スタッフ9:00集合)

・見学コース

たんぼぼ温泉デイ(集合・出発)	あすか・つぐみ(見学)	たんぼぼ温泉デイ(昼食)
YY(見学)	だいち(見学)	たんぼぼ温泉デイ(終了)

・参加費800円(昼食バイキング630円、コーヒー移動販売170円つき)

・広報配布4/25~

・各庁舎、出張所へは配布済み

・学校関係へのお知らせ…担当者が分担して連絡

・各事業所へ配布依頼

・申込の受付・集計担当…相談支援センターあすか

・バスツアー当日のパフレット(各事業所の紹介)…各事業所へ原稿依頼

・ツアーのヘルパー募集呼びかけの際に(担当山口委員)市内ヘルパー事業所一覧を配布したい

バスツアー担当者会議 5/13(金) 9:30~

4.短期入所の現状・課題について

(部会長より)

- ・自立支援協議会の圏域会議で短期入所の緊急受入時の加算について県として検討していただくように要望を出した。
- ・短期入所、暮らしの場のネットワークをつくりたい。
- ・部会として何らかの方策・アイデアをだしていきたい。

(事業所としての現状や課題についての交流)

- ・緊急の受け入れにあたっては、精神障がいの方への対応、夜間の支援、感染症等の問題に対する課題がある。事業所として受け入れを判断する職員の難しさ、又リスクや責任を考える責任者・管理者の立場からは慎重にならざるを得ない面もある。
- ・全く初めての利用者を受け入れるには、支援者の力量や体制が求められるので、できることなら緊急になる前に利用していただく、又は通所施設等の支援者から利用者の支援方法などの情報を事前に共有できると受け入れがしやすい。
- ・難病の方の短期入所の受け入れ先がない。
難病のショートステイの制度(愛知県の事業)があるが、診療報酬に比べ報酬単価が著しく低いため利用されていない。医療機関側は入院として受け入れをする。
県外の医療機関においてレスパイト入院を利用している方がいる。
市民病院において小児の患者さんで、1ヶ月～数ヶ月ごとに1週間程度レスパイト入院をされている方複数がいる。
- ・各事業所、各医療機関では様々なケースにどのように対応しているかの情報がほしい。

(暮らしの場の拡充について)

- ・精神障がいの方のホームの位置づけは、必ずしも長期的な暮らしの場ではない。
1人暮らしへむけての一時的な練習をする過程である場合がある。
体験的なホームの事業が考えられる。(利用者が入れ替わり事業として機能する)
- ・NPO法人でホームを新築したいという相談もある。
現行の新設国庫補助金の要綱ではNPO法人は対象外になっている。また国庫補助の県内の競争率も高い。
- ・市の土地や物件で活用できるものはないか？
市として土地や建物の提供が可能ならば、選定された法人・団体に管理・運営することもできる。
ホームのニーズは大きいので1つの住居だけではすまないのではないか。

(次回にむけて)

- 緊急時の受け入れに対しての方策、暮らしの場の拡充にむけての方策を部会として提案できるようにしたい。
- 各法人団体での取り組みやアイデア・情報の集約、各委員でアイデアを持ち寄る。
- 短期入所、暮らしの場のネットワーク(新たな連絡会の必要性含む)についての検討。

5. 次回生活支援部会日程

日時:平成23年5月11日(水)13:30～

場所:後日連絡

一宮市障害者自立支援協議会・生活支援部会(平成23年度第2回)会議録

開催日時：平成23年5月11日(水) 13:30～16:00

場所：一宮市役所8階会議室

<議題>

10. ヘルパー連絡会について
11. 福祉の仕事を知るためのバスツアーについて
12. 短期入所の現状と課題について

1. ヘルパー連絡会について

(1) 出欠の確認・・・参加18事業所、出席者50～60人くらい(部会委員、相談支援員含む)

(2) 当日の流れについて

・12時要員スタッフ集合

・13時～受付・・・受付で出席者に動物のカードを渡す。4テーブルにそれぞれ動物の絵が表示。

カードの動物を見て、同じ動物の表示があるテーブルに座ってもらう。

スタッフは出席者に聞かれるまで何も説明はしない。

テーブルの動物ではないカードもまぜる。

視覚支援のヒントを伝える仕掛け。はじめのあいさつの部分で説明をいれる。

・13:10～14:10・・・研修「精神障がいの特性についての理解」

当日の資料の有無の確認。資料ありの場合明日の朝までに事務局へメール。

・14:10～14:30・・・先回の連絡であがった質問に対する回答と交流

・14:30～14:40・・・休憩

・14:40～14:50・・・4グループに分かれてグループワーク。(1グループ10人くらい)

自己紹介と役割決め(書記と発表)。進行は責任者。

・14:50～15:30・・・グループごとで交流「ヘルパーとして日ごろ感じていること(やりがい、困っていること)」

「事業所の課題や取り組みなど」意見を付箋に記入し、B紙にはってまとめる。

・15:30～16:00・・・各グループの発表、まとめ

最後に「ヘルパーとしての喜びや、よかったこと」ヘルパーさんに発表していただく。

(3) 当日の配布資料の確認・・・本日中に事務局へメール、事務局で印刷、部数70部

・当日レジメ(1枚)

・当日の参加アンケート(1枚)

・先回の参加アンケートの集計結果(1枚)

・先回の参加アンケートの質問に対する回答(1枚)

・先回の意見交流の内容のまとめ(2枚)

参加者名簿は連絡会の中で同意を得て、今後作成しお渡しできるようにする。

2. バスツアーについて

(1) 参加申し込み状況・・・定員25名のところ22名の申し込みあり。5/12締切り。

19歳～74歳、男性1名、女性21名、前回ツアー参加者3名

何をみて申し込みをされたか?・・・広報が圧倒的に多い、チラシわずか。

(2) 準備課題

・担当者最終打ち合わせ5/13(金)・・・当日の分担のつめ、参加者多数の場合は検討

・当日配布パンフレット、資料・・・データを事務局へ、事務局で印刷

- ・当日配布パンフレットに次回ツアー日程10/6(木)を入れる。

3. 短期入所の現状と課題について

(他市自立支援協議会の取り組みの参考情報として…)

- ・豊川市障害児・者医療的ケア日中一時支援の資料(医療的ケアが必要な方の受入れに対する加算あり)
豊川市自立支援協議会で施策提言し、豊川市の地域生活支援事業で実施

(1)利用者、事業所の現状の把握、実態調査等について

部会長より…一宮市にどのような短期入所が必要か?利用者や家族はどういったことを望んでいるか?

また、事業所側と利用者側のニーズ、実態調査で何らかのデータ化をし、施策の根拠とする必要
あるのではないか。

<一宮市の短期入所支給決定者数>

- ・障害者…597名
- ・障害児…238名 合計…835名

<一宮市の短期入所事業所等の定員>

- ・短期入所事業所…12ヶ所(うち介護保険施設4ヶ所含む、障害福祉サービス事業所8ヶ所)
- ・医療機関による受け入れ(難病ショートステイなど)
- ・レスパイト事業
- ・その他

<実態調査にあたって>

事業所(又は各法人、団体)のアンケート調査
各法人にアンケートの協力依頼を行う。

利用者・家族のアンケート調査

成人の方の場合は、各法人のアンケート協力依頼を行うと(事業所側のアンケートと利用者側のニーズ両方)、日
中事業所利用者だけでかなりの人数のニーズをひろうことができる?

児童のアンケートについては、「無作為抽出方法」又は「対象者全て」で費用が違う

アンケートの内容を決めれば郵送料のみ、コンサルは不要だが、集計分析作業はかなり大変になる。

日中事業所利用者のニーズ調査の人数割合でアンケート調査(無作為抽出方法)をする?

アンケートの項目を検討、詰める必要あり。事業所側、利用者側両方のアンケートが必要。

(2)事業所情報ガイドブック等の作成について

利用者や家族(または相談支援センター等)が短期入所事業所を選択する際に、参考として知りたい事業所の情報
を整理し、ガイドブックのような形にできないか?

別紙資料「短期入所事業所情報」参照…1~20まで項目あり

障がい福祉事業所に併設の事業所

- …各事業所に依頼(委員が所属する法人の事業所については各委員から説明と依頼)

介護保険事業所に併設の短期入所事業所

- …担当委員が訪問し、説明と回答の依頼をする。

あわせてガイドブック作成掲載が可能かの同意も得る。

医療機関での受け入れ(難病ショートなど)についてガイドブック等に整理できないか?
交通事故にあわれた方の支援をしている中部療護センターの情報もあり

(3)具体的な方策の案、アイデア

…上記(1)の実態調査を施策提言の根拠としつつ、具体的な方策のアイデアをだしていけたら。
別紙資料「短期入所の緊急時の受け入れの方策(たたき台の案)」参照

案 通所施設(各法人、団体)で短期入所の新規事業拡大ができないか?…そのための情報提供を行う

案 短期入所に市単独で緊急受け入れの加算上乘せができないか?…まず市の事業として実施し、国・県事業とするに要望していく

案 市の地域生活支援事業として緊急受け入れの事業ができないか?

- ・日中一時支援の宿泊型のような事業 又は
- ・緊急時に人材を派遣するような事業

京都市で実施(緊急時にヘルパー等の支援者を派遣、場所は自宅や緊急短期入所利用先でも可。入院時
も対象)

案 市の予算で短期入所の利用枠を確保できないか?

京都市で実施(1日2人×1人6,615円×365日=約490万円)

案 日中一時支援と短期入所の併用についての見直し

現在の要綱の確認、同一日に日中一時支援と短期入所の併用ができない?

案 難病の方、医療的ケアが必要な方の受け入れについて

- ・福祉事業所の場合は、医療職を配置した場合の加算の検討
- ・医療機関での受け入れが進むような方策が何かできないか?

(4)次回に向けて

ガイドブック作成にむけた事業所情報の収集、整理

医療機関の受入れについて(難病ショート、中部療護センター等)の情報の整理

事業所、利用者に対するアンケート調査の内容の検討、調査方法の具体化

具体的な方策についてのアイデア、情報収集、検討

4. 次回部会の日程

・日時:平成23年6月11日(水)13:30~

・場所:未定(後日連絡)

一宮市障害者自立支援協議会・生活支援部会(23年度第3回)会議録

開催日時：平成23年6月8日(水) 13:30～16:00

場所：一宮市役所 5階第2会議室

〔議題〕

1. ヘルパー連絡会について
2. 福祉の仕事を知るためのバスツアーについて
3. 短期入所の現状・課題について

はじめに～部会長より生活支援部会の取り組みの整理～

人材育成プロジェクト

(現在実施しているもの)

・ヘルパー連絡会

・福祉の仕事を知るためのバスツアー

(これまで議論にあがったが未実施のもの)

・合同の研修会

・合同就職フェア

・・・その他の提案・アイデアについても各委員から出してほしい

地域に暮らす人たちが望む短期入所(日中一時支援)の実現をするプロジェクト

短期入所・・・現在検討中

日中一時支援・・・今年度から児童長期休暇対応加算を新設

自立支援協議会の広報、普及について

・リーフレット

・事務局のあり方

・ホームページ

・地域の行事、催しでの広報活動

1. ヘルパー連絡会について

23年度第1回ヘルパー連絡会(5/12)実施の報告

・・・別紙「参加アンケートのまとめ」、「参加者名簿」、「交流会グループごとのまとめ」参照

(参加状況)

・参加・・・19事業所、62名(うち研修のみの参加35名)

(研修について)

・参加者より「研修は良かった。」「講師の話しがわかりやすかった。」との声が多かった。

・講師より「講演とグループワークのつながりがあると良いなあ」との意見。

(交流会について)

・連絡会は敷居が高いとヘルパーさんは感じていたようだが、今回はグループワークで自分の意見が言えてよかったとの感想あり。

・1グループ10人は人数が多い、5人くらいが良い。

- ・現場の具体的な支援についての交流がしたい、当事者の声も聞きたい、という意見あり。
- ・16時から支援に入る事業所が多く、交流会に参加する人が少なかった。
- ・介護保険の事業所さんから昼の時間帯は難しい、18時以降が良いとの意見あり。
(今年度は日程と時間を決めてあるため変更は難しい。今後の参考とする。)
- ・「ヘルパーさんから相談支援員に相談しにくい、敷居が高い。」という声があった。一方では相談支援員に相談をし、個別支援会議等で支援が良い方向に向かったという声もあった。

23年度第2回ヘルパー連絡会について・・・7月21日(木)予定

- ・時間・・・13:15～15:15の2時間でタイムテーブルを組む 会場は13時からしか借用できない。
- (前半)1時間研修・・・「特性を理解した支援方法について」
今回のアンケート内容、質問の内容も講師にお伝えする。
- (後半)1時間グループワーク・・・案1)「精神障がい」「自閉症」「制度」のテーマを決めて6グループくらいで交流
案2)ヘルパー組・・・事例をあげてケース検討など
責任者組・・・地域の課題、事業所の取り組みについての交流
- ・前半と後半の間の休憩は無しにする。
- ・受付の際に今回の絵カード(視覚支援の意味・方法を伝える)のようなアイデアを取り入れる。
- ・準備担当者打ち合わせ 6/24(金)10:00～

2. 福祉の仕事を知るためのバスツアーについて

5/26実施 第2回福祉の仕事を知るためのバスツアーの報告

- ・・・別紙「バスツアー参加アンケート集計」、「バスツアーの報告」参照
- ・大きな問題なく予定どおりに実施できた。参加者22名。
- ・参加者からのアンケート結果も好評であった。
- ・求職のために参加している方に対して何らかの情報提供ができる仕組みがほしい。
見学した事業所は求人をしていると思われて参加している方もいる。
- ・部会で市内の事業所の求人の情報収集をすることができるか。
- ・事業所一覧の配布なども1つの方法。
- ・体験希望の方には事業所から別途連絡をしている。
- ・当事者の家族の方も数名参加されている。(事業所を見学したいという目的が大きい?)
- ・今後、実際にバスツアー後体験・実習に結びついた実績、アルバイトや就労に結びついた実績の報告が必要になってくるのではないか。
- ・ツアーの報告・・・運営会の承認後にホームページにアップ。

次回10/6のツアーについて

- ・9月広報掲載予定。7月末までに具体化する必要あり。
- ・候補地・・・一宮市社会福祉事業団の事業所(いずみ福祉園他)、黒田ドリーム作業所、たけっこ(案)
- ・今後の候補地・・・榎の木福祉会事業所、クローバー、パレット、さんさんガーデン(案)

3. 短期入所について

- ・ガイドブック作成にむけた事業所情報の収集について
- ・・・市内短期入所指定12事業所中10事業所からデータ収集ができた。
- ・Q&Aの確認・・・緊急時等においても短期入所と日中一時支援の併用はできないか?
回答はQ&Aの通り不可である。緊急等の場合で事業所がどうしても対応に困る場合は、その都度福祉課と相談。

・利用者、家族の現状を調査把握した上で、新たな施策を検討する際は、部会や運営会に福祉課の担当者に出席していただき、意見を伺うことも今後必要かもしれない。

・利用者や家族から意見を集める方法の案として

・・・ホームページにアンケート用紙をアップして意見を言いたい方は意見を言ってもらう方法。
福祉計画策定委員会でこのような方法をとる案が出ている。福祉計画策定とは別で実施する。
予算不要

集計作業は部会委員で頑張る必要あり。

・プロセスマップを作成(部会長)・・・実態調査から施策提言にむけていつまでに何をするか

・アンケートの素案・・・部会長が次回部会までに作成

・当事者、家族の方に部会に参加してもらうことも必要ではないか。・・・運営会の承認が必要

・日中一時支援について

小中高生の夏休みの居場所がない。夏休みの様々な体験の機会。母親の夏休み期間中の休息。

指定事業所であれば可。ヘルパー事業所でも可。児童長期休暇対応加算 1890 円の新設。

どれくらいの事業所が利用拡大の努力をしていただけるか。

4. 警察プロジェクト、コンビニプロジェクトなど(安心して暮らせる地域づくりのための草の根的活動)

・協議会の中に警察の方に入っていたら・・・。

・地域の警察の方に障がいのある方のことを少しでも理解していただけたら・・・。

・地域の身近なお店、コンビニの方に障がいのある方のことを少しでも理解していただけたら・・・。

・部会として何か取り組めないか？

5. その他お知らせ

一宮福祉サポート講演会「大人のマナー」講師ミクリア氏

7/12(火)13:30～ ファッションデザインセンターにて

「パンですよ」名古屋ライトハウスさんの事業、保存用のパンの缶の販売のお知らせ

事務局より、本会 7/15(金)予定

「ミンナ DE カオウヤ」プロジェクト・・・東北の授産製品を都市部で販売しよう(大阪インサイト関谷さん企画)

檜の木福祉会参加(こまこまで販売)、7/23 夏祭り

6. 次回部会の日程

日時:7/13(水)13:30～

場所:未定、後日連絡